

安全データシート

改訂日：2022年8月29日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ビス[(+)-タルトラト]ニアンチモン(III)酸ニカリウム三水和物
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CB1888

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分3
生殖細胞変異原性: 区分2
特定標的臓器毒性: 区分3(気道刺激性)
(単回ばく露)
特定標的臓器毒性: 区分2(肝臓)
(反復ばく露)
水生環境有害性 短期(急性): 区分3
水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
飲み込むと有毒
呼吸器への刺激のおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害
【安全対策】
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急処置】
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

注意書き

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量

化学物質
ビス[(+)-タルトラト]ニアンチモン(III)酸ニカリウム三水和物
酒石酸アンチモニルカリウム、吐酒石
 $C_8H_4K_2O_{12}Sb_2 \cdot 3H_2O$
CAS RN: 28300-74-5
ビス[(+)-タルトラト]ニアンチモン(III)酸ニカリウム三水和物
100% (純度99.5%以上のもの・代表値;100%)
アンチモンとして36%
(2)-2953
HSコード: 2918.13

官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
特有の消火方法	
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境への放出を避けること。 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込みを避けること。 粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
技術的対策(局所排気、全体換気等)	
安全取扱い注意事項	
接触回避	
衛生対策	
保管	容器を密閉して換気の良い涼しい場所で保管すること。 施錠して保管すること。 ガラス
安全な保管条件	
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	未設定
管理濃度	0.1 mg/m ³ (アンチモン及びアンチモン化合物(Sbとして))
日本産業衛生学会	3.8mg/m ³ (経皮吸入)
ACGIH	TLV-TWA: 0.5 mg/m ³ (Sbとして)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。
保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋、保護衣を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣及び長靴を着用すること。
呼吸器の保護具	
手の保護具	
目の保護具	
皮膚及び身体の保護具	
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶又は粉末
色	無色又は白色
臭い	特徴的な臭気
融点/凝固点	100℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	1635℃
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	該当情報なし。
pH	3.8～4.5 (JIS規格値)
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	83g/L (20℃、水)
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	3 × 10 ⁻⁹ mmHg (25℃)
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	大気中で風化する。 100℃で結晶水を失う。 弱酸性反応を示す。
危険有害反応可能性	

避けるべき条件		加熱、混触危険物質との接触
混触危険物質		アルカリ、炭酸塩、強酸化剤
危険有害な分解生成物		加熱による分解で有毒で刺激性のアンチモン及び酸化カリウムのヒュームを生じる。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口：	ラットのLD50値として、115 mg/kg (NITE有害性評価書 (2008)) 及び84 mgSb/kg (C ₈ H ₄ K ₂ O ₁₂ Sb ₂ ・3H ₂ Oとして：230 mg/kg) (DFGOT vol. 23 (2007)) との報告に基づき、区分3とした。 データ不足のため分類できない。なお、本物質をヒトの有傷皮膚に軟膏として適用した結果、わずかな刺激性がみられたとの報告がある。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 In vivoでは、本物質の腹腔内投与によるラット骨髄細胞の染色体異常試験で陽性 (DFGOT vol. 23 (2007))、本物質を投与したヒト (患者) の末梢血リンパ球を用いた染色体検査において陽性の報告がある (HSDB (Access on August 2015))。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陰性である (NITE初期リスク評価書 (2008)、NTP DB (Access on August 2015))。In vivo体細胞変異原性陽性結果があるため、区分2とした。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。なお、妊娠マウスに妊娠11日に本物質 30 mg/kgを単回投与 (経路不記載) したが、胎児に骨格異常はみられなかった (DFGOT vol. 23 (2007)) との記述がある。 本物質の情報はない。アンチモン及びその化合物は、気道刺激性があるとの記載 (ACGIH (7th, 2001)) に基づき、区分3 (気道刺激性) とした。 ヒトに関する情報はない。実験動物では、ラットを用いた13週間飲水投与毒性試験において区分2の範囲である500 ppm (雄：42.2 mg/kg/day、雌：45.7 mg/kg/day) で摂水量減少、体重増加抑制、腎臓相対重量減少、血清中クレアチニン減少、ALP 活性減少、雄で 血尿、肝硬変、雌で 肝臓における細胞核大小不同、血清中コレステロール、総タンパク質量減少がみられている (NITE初期リスク評価書 (2008)、DFGOT vol. 23 (2007))。したがって、区分2 (肝臓) とした。 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
生殖細胞変異原性		
発がん性		
生殖毒性		
特定標的臓器毒性 (単回暴露)		
特定標的臓器毒性 (反復暴露)		
誤えん有害性		
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性) 長期: (慢性)	魚類(ファットヘッドミノー)の96時間LC50=12000 μg/L(AQUIRE、2003)から、区分3とした。 急性毒性が区分3、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)
残留性・分解性		
生体蓄積性		
土壌中の移動性		
オゾン層への有害性		
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		1551
品名 (国連輸送名)		酒石酸アンチモンカリウム
国連分類		クラス6.1
容器等級		Ⅲ
海洋汚染物質		該当する。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		151
15. 適用法令		
化学物質管理促進法 (PRTR法)		第1種指定化学物質 (第2条・施行令第1条別表第1) [アンチモン及びその化合物]
毒物及び劇物取締法		劇物 (第2条・指定令第2条) [アンチモン化合物及びこれを含有する製剤]
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (第57条及び施行令第18条、第57条の2及び施行令第18条の2) [アンチモン及びその化合物] 危険性又は有害性を調査すべき物 [アンチモン及びその化合物]
消防法		貯蔵・取扱いの届出物質 (第9条の3 政令別表2及び省令第2条)
労働基準法		疾病化学物質 (第75条第2項・施行規則第35条別表第1の2第4号の1) [アンチモン及びその化合物]
水質汚濁防止法		指定物質 (施行令第3条の3) [アンチモン及びその化合物]
大気汚染防止法		有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質 (中央環境審議会の第九次答申) [アンチモン及びその化合物]
船舶安全法		毒物類・毒物 (危規則第3条危険物別表第1)
航空法		毒物類・毒物 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
16. その他の情報		
参考文献		職場のあんぜんサイト (厚労省HP) NITE－CHIRIP (製品評価技術基盤機構HP)

16615の化学商品（化学工業日報社）

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。